



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

バハレーン・クウェイト：湾岸協力会議（GCC）外相会議

（23日付現地各紙）

23日付現地各紙は、湾岸協力会議（GCC）外相会議について報じている。

1. 22日、GCC諸国の外相は、バハレーンが提案したGCCの進歩と発展に関するビジョンについて話し合うため、マナーマで会合を開催した。
2. 各国外相は、軍事、安全保障、経済面での協力関係の強化、また、シェーラー制度や人権の促進のための方途とともに、決定事項の実施をフォローアップするための方策についても話し合った。
3. バハレーンのハーリド外相は、記者会見の中で「この地域の安全と安定を達成する上で共通する問題と課題に取り組むに当たって、我々が積極的な役割を果たし、次の段階で目標を達成することに貢献する、というのが我々の目指していることである。今回の外相会議は、ハマド国王およびGCC諸国の指導者たちの指示により、バハレーンのビジョンについて話し合い、GCC間の協力を最も効果的なものとするための提案を実行に移すために開催された」と述べた。
4. GCC外相会合に出席するためバハレーンに向かったクウェイトのムハンマド副首相兼外相は、次のように発言した。
 - (1) GCC統一通貨に関して
 - ① 2010年のGCC統一通貨の導入に関し、現在はGCC諸国の通貨政策の調整・研究、および統一通貨導入に向けた法的基盤の整備が行なわれている段階にあり、統一通貨導入プロセスに変更はない。
 - ② ユーロおよび欧州連合が直面している危機を見るに、統一通貨の導入には通貨政策と財政政策という両翼が必要であることがわかる。ユーロが浮揚できないのは、財政政策を欠いているからであり、欧州連合では財政政策の統一に向けた多くの議論が行なわれている。
 - ③ 我々は途中で立ち止まり、「GCC諸国の財政政策の統一に向け我々は何をしてきたか」と問い直すことは望んでおらず、欧州の友人のように、一翼だけで通過浮揚を試みた際に、エアポケットに陥ることも望んでいない。

(2) イエメンの参加に関して

- ① 2006年にロンドンで開催されたイエメン支援国会議で我々が表明したイエメン支援の補完のため、今次GCC外相会合の機会にイエメン外相と会合を実施する。
- ② 次回支援国会議では、イエメンのこれまでの取り組みに加え、我々がイエメンを効果的に支援できるよう、我々がイエメンに実施を求めている取り組みについてフォローすることになる。
- ③ 今回のイエメン外相との会合でも、イエメン外相から我々に対し、イエメンのこれまでの取り組みについて説明があるだろう。